

令和5年度 第2回教育編成委員会 会議議事録

1. 日時：2024年1月16日 17:00～18:30

2. 場所：日産愛媛自動車大学校 会議室

3. 参加者 学校外委員

出席者 企業代表 愛媛日産自動車（株）サービス部 田村様

企業代表 日産プリンス愛媛販売（株）サービス部 樋口様

欠席者 有識者代表 愛媛大学 教授 工学博士 中原様

学校内委員

出席者 日産愛媛自動車大学校 科長 西浦 進一

日産愛媛自動車大学校 事務長 大政 浩行

欠席者 日産愛媛自動車外学校 校長 高橋 照雄

日産愛媛自動車大学校 部長 高橋 潔

4. 教育編成委員会内容

1) 現在の学校がおかれている現状説明

大政 委員) コロナも5類に移行し、学校行事は現在まで計画通りに進行出来ている。現在は、卒業学年(2,4年生)の国家試験対応と1,3年生の就職活動をおこなっている。また、国家試験会場については、コロナ自体は収束傾向にあるが、今後の感染リスクは予測不能な為、学校会場での実施予定である。卒業式は通常通りの開催を予定している。

2) メンバー紹介（学校外委員2名、学校内委員2名）

・ 中原委員、高橋校長、高橋部長は欠席のため、後日議事録を送付予定。

3) 各委員の選出

・ 委員会の進行を学校の大政、書記係に学校の西浦を任命。賛同を得て承認。

4) 第2回教育編成委員会

— 議事 —

大政 委員)

① 【退学者・欠席率】

・ 現在の退学者は、自動車整備科1年生9名、2年生1名、一級自動車工学科1年生1名、3年3名となり、全体では期初人数194人から180人となった。

・ 欠席率については、4月より1年生の特定学年が悪く現在も改善できていない。また、上級学年の3,4年生についても卒業に向け改善が必要な状況である。

② 【就学状況】

- ・1年生は大幅に出席率が低下し、それに伴うように授業の進捗も思わしくない学生が増えている。全体平均点は昨年 65.7 点⇒FY23 55.5 点と低下している。また、補講時間にかかなりの時間を費やす学生もあり、このままでは進級が危ぶまれる。
- ・2年生は1年次に引き続き学習意欲の高い状態を維持できている、全体的には良い状況。しかし、極低位の学生も数名おり、国家試験の全員合格については予断を許さない状況だと考えている。
- ・3年生は前期に意欲の低い学生が3名退学となったが、その他の学生は学習意欲も高く、進級に向け頑張っている。低位学生が数名いるが、学習意欲は高い事から、教員のフォローにより進級は可能と考えている。日産圏就職率は昨年より改善している。
- ・4年生は3年次より、複数名の学習意欲が低い学生に工数をかけたが、現在までに改善は出来ていない。学年全体でも5S意識が低く、上級生の意識づけを継続中である。国家試験に向けては、数人の極低位者のフォローを行っているが、模擬試験の得点推移が思わしくない。
- ・国際自動車整備科は1年生が7月にN3を8名が受験し5名が合格。12月にN2を5名が受験、N3を3名が受験。受験結果は1月中旬予定。
- ・2年生が5名全員、日産販売会社の就職を希望し活動中。
- ・3年生はC巡終了時点で定期試験の不合格者は発生せず、日本人の学力と遜色はないと判断している。

田村 委員) 自分が学生の頃は、自動車の仕事に就く為に、資格取得は割り切って行ってきたが、現在の学生はどうか？

大政 委員) 昔ほど自動車に興味があって入学してくる学生ばかりでは無く、学習意欲の低い学生も入学してくるので、資格取得の意識付けは苦勞をしている。これからは多様な学生をいかに就職に意識を向け、卒業させるかが学校存続の課題と考えている。

③ 【その他】

- ・整備士の資格制度が変更になり、一級自動車整備士（統合）、二級自動車整備士（統合）、三級自動車整備士（統合）となる予定である。
- ・制度変更施行後の初回試験（2級：2027年、1級：2029年）実施に向け準備を進めて行く。
- ・昨今の自動車業界の不祥事を受け、JAMCAよりコンプライアンス授業を学校授業として行う発表があり、来年度より、学生の意識醸成の為、学校としても実施する計画である。

以上